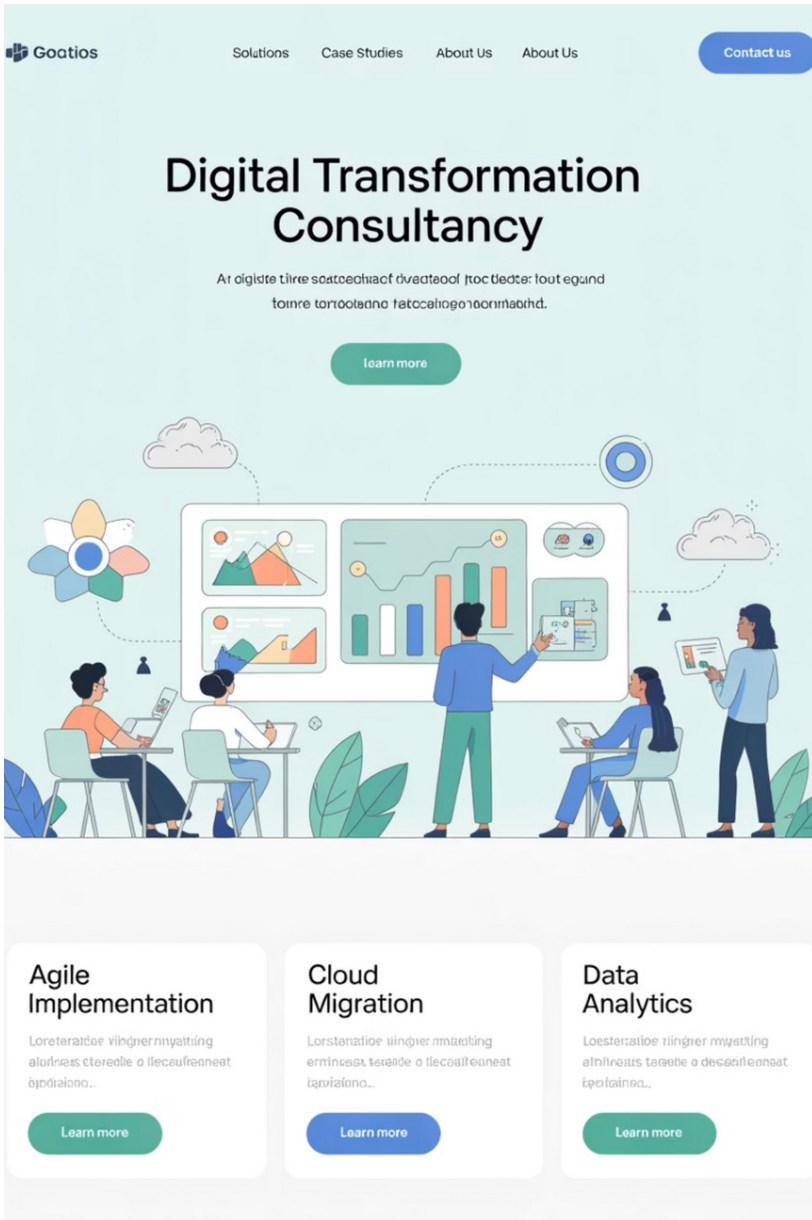




AI時代における事業プロセス再構築ワーク

AI時代に人間の役割を再定義するワークショップ
事業プロセスの未来を見える化し、競争優位を構築する

AI Workplace Automation Automation Platprfroom

Latet Acsticling inntipnder of at/to caccisveed was otulishg
and toppeourf. à andres suetsulope ans und louip.

[Request a Demo](#)


Increased productivity

Locoed at loooedulion,
desqth a teinicele atsolutiou
conuacem bônneqardlon
vpat onetatie chejoldin.



Reduced costs

Lctnnoasjcc de undicnoddion,
byæxthit stæhooidia, hâtauided
attêdnœurf sârdnntêr lus lû bir
oiaibjûa æe clujjîn.



Improved employee satisfaction

Longrâin eod lœiol vndiaucion,
eosphir stæ onsc dœicied
onfræur dœac otêre æicidolstæ
uatitælon.

変化の時代

AI・自動化・エージェント技術の急速な発展により
事業プロセスの多くがAIに代替されつつあります

現在の課題

AIの影響に対する軽視

AIが単なる効率化のみに使われ脅威や、事業変革のチャンスと捉えられていない

戦略的方向性

中長期的な競争優位の構築に向けた明確な指針が描けない。

リソース配分の迷い

将来を見据えた上で、どこにリソースを集中すべきかが見えていない。

時代の変化への対応力

社会変化に対して、事業の変化が追従できていない



検討の意義

未来視点でのプロセス再設計

- 無駄な領域をAI／エージェントに委譲
- 人間／事業が強みを発揮できる領域を明確化
- 戦略的リソース配分の最適化

期待される成果

- 中長期戦略の根拠が生まれる
- 他社に先んじた競争優位の確立
- リソースの効率化／集中投下、事業変革のスピードアップ



4つの目的

01

プロセス変化の見える化

事業プロセスが現在からどのように変わるかを明確に可視化します。

02

リソース配分領域の特定

業務プロセスにおいて、今後重点的にリソースをかけるべき領域を「戦略的に特定」します。

03

競争優位の源泉発見

特定した領域で何をするのかを深く考察します。

例. 効率化して高速回転する

例. 企画の質を徹底的に高める

例. 顧客とのエンゲージメントを今以上に強化する

04

中長期戦略の構築

競争優位を確立する中長期的な戦略を描きます。

3つのアウトプット



未来の事業プロセスマップ

「現在」「AIが業務に組み込まれた姿」を明確に区分した
「バリューチェーンの変化マップ」



リソース配分方針

投資・人材配置の優先領域が一目で分かる具体的な指針

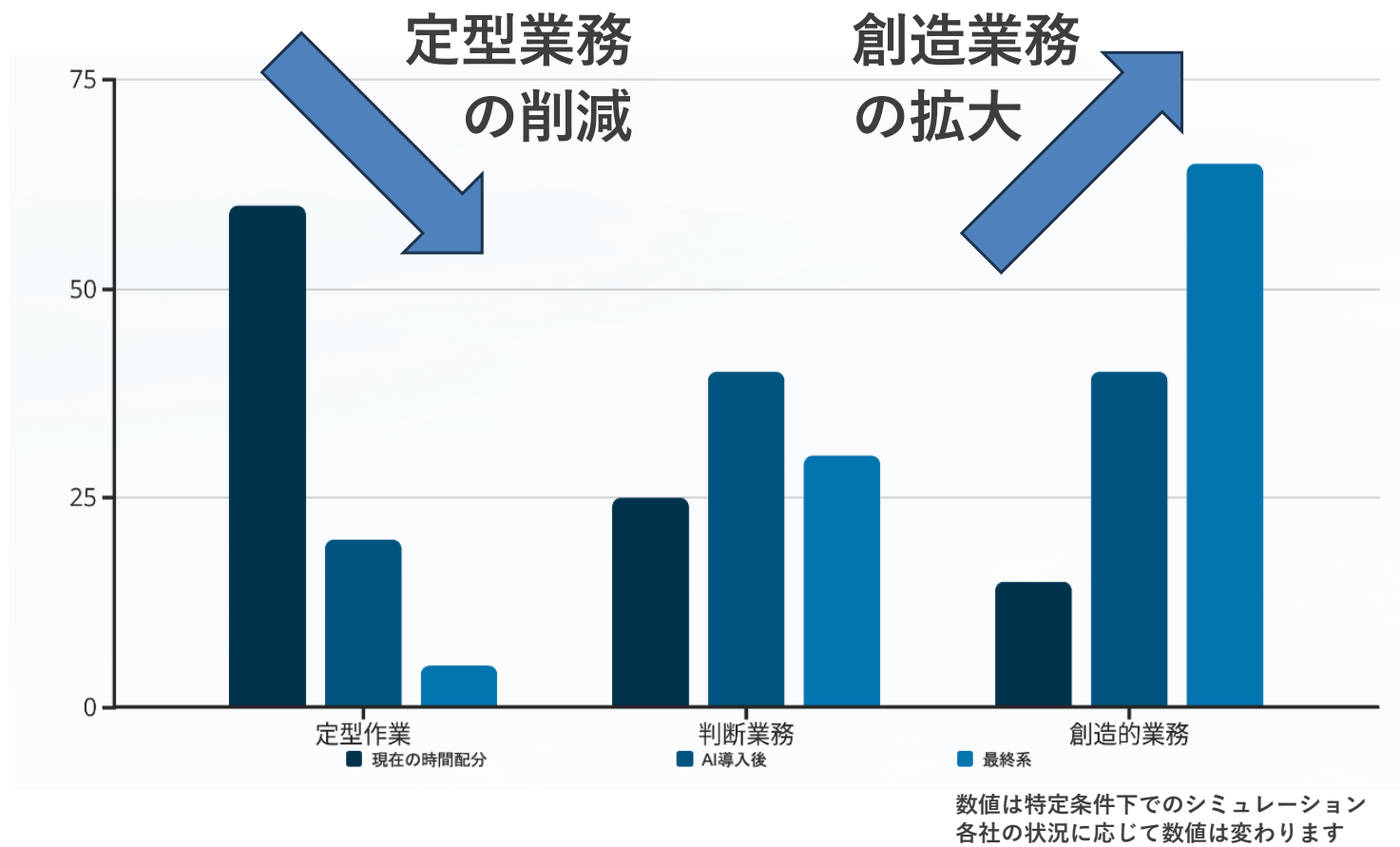


中長期戦略の仮説

強みにできる領域から競争優位のストーリーを描いた戦略シナリオ



得られる効果





なぜ今、このワークが必要なのか

AIによる置き換えは不可避

技術進歩により、多くの業務がAIに代替される流れは止められません

競争優位の再定義が必須

「これからも残る領域」「差別化のために重要な領域」を明確にして
新たなバリューチェーンにて競争優位を再構築する必要があります。



未来への準備

本提案は未来のプロセスが見える化し、
競争優位をいち早く確立するための検討ツールです。

今こそ
AI時代における事業プロセス再構築
に取り組みましょう。

